

943



本太閤記全





抑日吉丸尾
 州中村生功の非
 凡出家進れ共謀り
 元佛具を破り乱暴す寺を退き成長の後
 信長を仕へ後豊臣秀吉と稱す

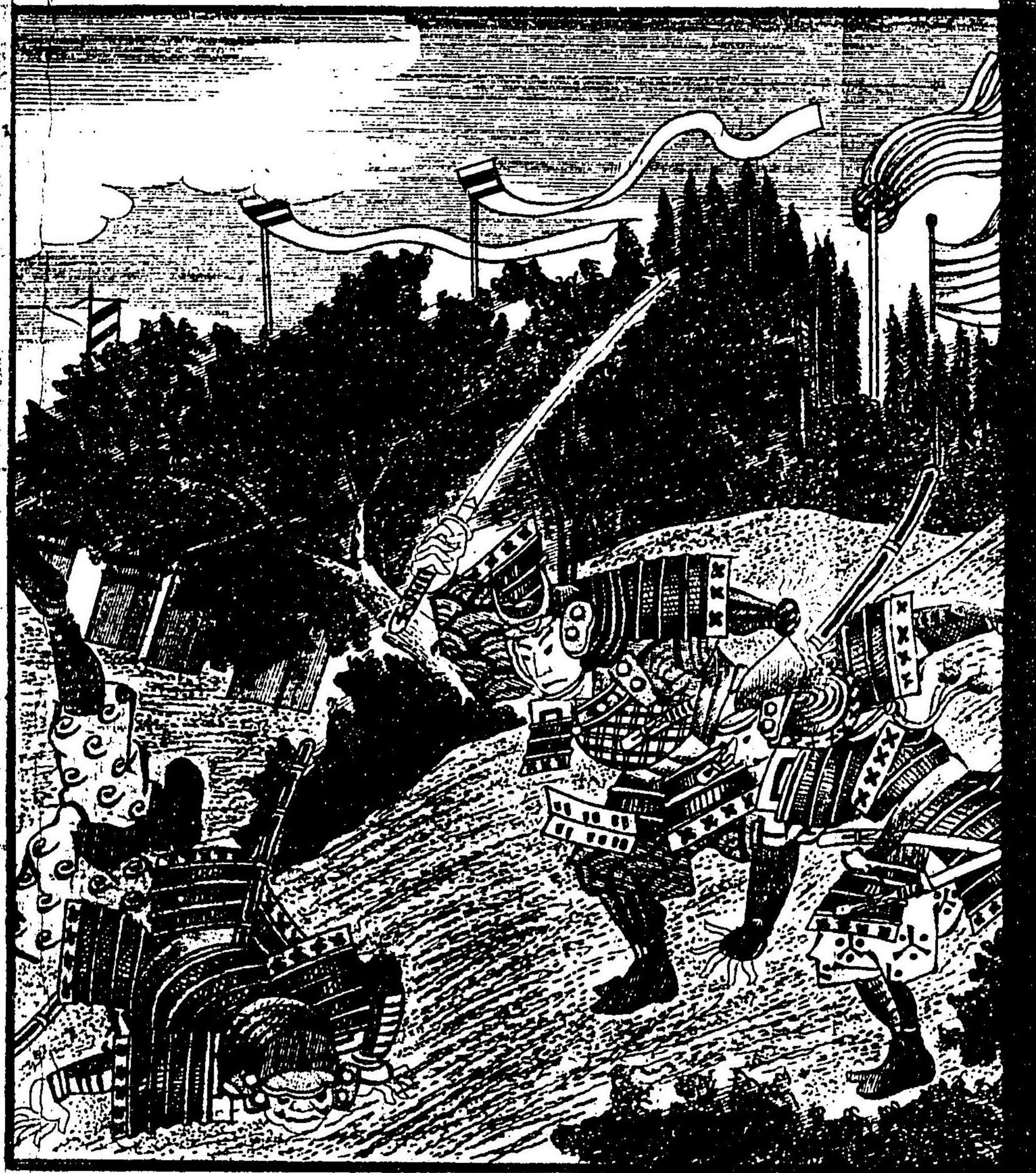
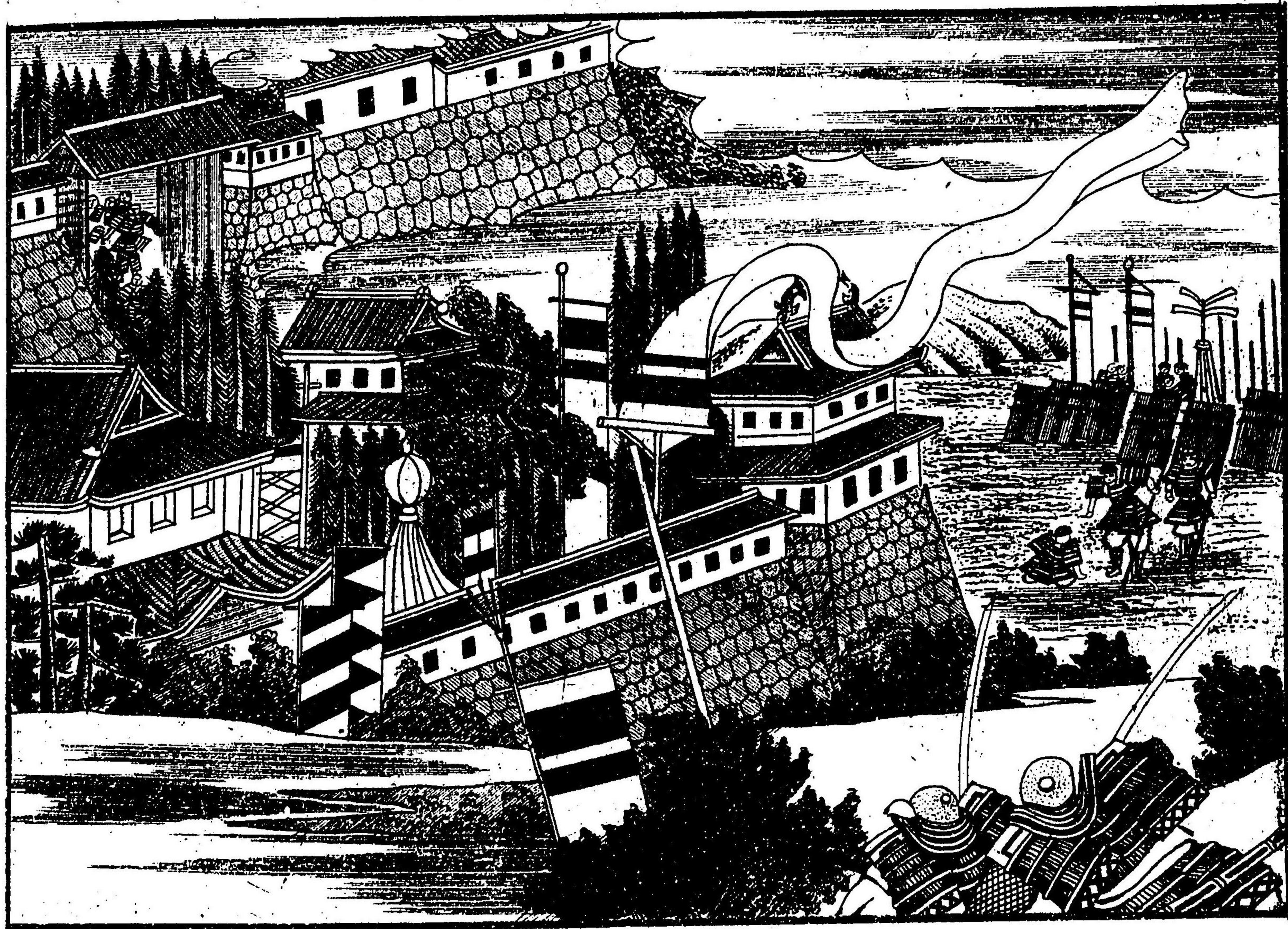
日吉丸

太閤記



板元
 源川屋







大隈言



木下藤吉郎

日吉丸松下二仕へ
 藤吉郎と云今川北条
 富平川の戦い松平下
 乱軍の中編陣を抜た
 の中より不意に伊東討



伊東日向守



織田信長



木下藤吉郎

のぶちのこまきおのりやう
 信長小牧山遊獵
 藤吉信長の前
 進出臣下とあんなを
 願者彼籍と認め
 信長を制し召
 連と臣下とす





今川義元



今川義元大軍を率い、長
と桶狭間は戦、義元
勝を誇りて、猶豫す藤
吉の軍略旗元へ切込
毛利新助義元組
付首級を擧ぐ

今川義元



信長毛利を討んと軍
 議す光秀其非を論
 深く諫言す信長大怒
 りて蘭丸を以て鏡舟に
 其面を打せ取を與ふ光
 秀内心想を合む

明智光秀

六月廿

九



木村蘭丸

織田信長

太閤言



森蘭丸

巴



天正十年光秀兵を率
ひ突然信長の旅館本
陣寺を夜討す主従防
戦し共不意に起し幸
あらば力盡き信長自
盡し従者討死す

大坂



秀吉

光秀主君信長を殺す
 と秀吉是を聞き長
 州より引返し山崎
 光秀と戦ひ秀吉の智
 略は明智敗軍小栗栖
 り光秀土兵の手で死す

太閤記

信長の垂大徳寺に祀る信
雄信孝番焼香せんす
秀吉衣冠三法師九と
抱き進出兩人の焼香とす
柴田の我意と柱

三法師九

秀吉



明治十八年七月三日御届
東京浅草區教草平兩元町
十二番地
編輯兼
出版人
牧金芝助